

グランドオープン記念事業

■展覧会 あしたのおどろき

グランドオープンを記念する本展では、誰の日常にも潜在的にあるおどろきや発見の体験を朗らかに、あるいは鋭く際立たせるアール・ブリュット等のさまざまな作品を紹介します。

動物や日用品、風景といった身のまわりのものを独自の色やかたちで表したり、ドローイングや油彩、刺繍、アップリケなど身近な素材と技法を使って想像を超える表現を生み出したり、いままで意識を向けなかった空間の存在に気づかせてくれる作家を取り上げます。

会 期：令和2年2月8日(土曜日)～4月5日(日曜日) 11:00-19:00 入場無料

休館日：月曜日(ただし、2/24は開館)、2/25

出展作家：小笹逸男、小林勇輝、舛次崇、末永史尚、HIROYUKI DOI、塔本シスコ、西岡弘治、nui project、藤岡祐機、デニス・ホリングスワース、松岡亮、丸木スマ、山本純子



(上段左) 小笹逸男 《私の友達》 1985-1989年頃 みずのき美術館所蔵 提供：みずのき美術館

(上段右) 丸木スマ 《梅が咲く》 1952年 原爆の図丸木美術館所蔵

(下段左) 藤岡祐機 《無題》 2004年 作家蔵

(下段右) 松岡亮 「Tibet Festival 2019」 展示風景

※画像はすべて参考です。出展作とは異なる場合があります。

展覧会関連イベント

- ・ otto スペシャル・セッション「あさつての音の発見」

日時: 令和2年2月29日(土曜日) 16:00-17:00

現在、全国各地のイベントで活躍しているしょうぶ学園のパーカッショングループ「otto」。6人の小編成によるアコースティックで不思議な即興セッションの世界をお楽しみください。

- ・ オープントーク「共生とアート: 交わるおどろき」

日時: 令和2年3月28日(土曜日) 14:00-16:00 (手話通訳付、事前申込不要、先着順)

建築家やエドゥケーター、またインディペンデント・キュレーターの立場から、アール・ブリュットを含むさまざまな芸術表現に携わってきた方々を招き、アートを通じた共生のあり方を更新する方法について考えます。

登壇者: 家成俊勝(dot architects 共同主宰/京都造形芸術大学 教授)、野崎美樹(NPO 法人スローレーベル プロジェクトマネージャー)、ロジャー・マクドナルド(NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT] 副ディレクター)

- ・ 「ギャラリー・クルーズ」

日時: 令和2年2月8日(土曜日) 13:00-14:00、3月29日(日曜日) 15:00-16:00 (事前申込不要)

出展作家の作品説明を聞きながら、展示室を巡ります。

- ・ 「学芸員によるギャラリートーク」

日時: 令和2年2月22日(土曜日)、3月15日(日曜日)の15:00-16:00

(手話通訳付、事前申込不要、途中参加可)

■交流プログラム ひらく、つながる

グランドオープン記念事業として、環境音や電子音を中心としたサウンドワークから音楽プロデュースなど幅広い制作活動を行う蓮沼執太、展覧会出展作家の小林勇輝、松岡亮によるライブ・パフォーマンスを予定しています。

※展覧会関連イベント、交流プログラムの詳細は、当ギャラリーWebサイトに12月中旬頃に掲載します。